

平成16年度事業報告書
(平成16年4月～平成17年3月)

法人の名称 特定非営利活動法人 NPO あつぎみらい21

1 事業の成果

(1) 人材育成に関する事業

創業支援及び既存中小企業の経営革新支援を通じて地域経済の活性化を目指しているものであり、初級編としての創業セミナーから中級編（管理の強化セミナー）、上級編（経営戦略セミナー）等一連のセミナーが実施できたことと、継続して実施してきたことにより市民への認知が上がってきている。

(2) 活力あるまちづくり・地域経済活性化の支援・行政への施策提案等事業

中小企業活性化のために、産学連携による製品、技術の創生・向上を目的に企業訪問（当初は製造業）、経営相談を実施した（厚木市からの受託）。海老名でも企業を巡回した。連携に結びついたもの数件のほか、中小企業向け施策の周知、行政の取組み姿勢、時代の変遷に伴う企業の戦略的取組みの必要性を広めることができたと思う。

(3) IT 利活用の支援

IT 活用の環境整備支援及びネットワークづくり事業については、景気動向調査のヒアリング等においても強いニーズが見られ、PC の実務的講習会や電子入札制度の導入を控えての相談等に、また、ネットワークづくりについても特に SOHO への受発注システムの構築を鋭意検討したが、具体的な進展までには至らなかった。

(4) 地域人材活用システム事業

経産省の「市民ベンチャー事業」に応募したが不調に終わった。17 年度には同じく経産省の「地域自律・民間活用型キャリア教育プロジェクト」公募への参加を目指して準備していきたい。

2 事業内容

(1) 人材育成に関する事業

内容としては、起業予備軍の掘り起こし（創業セミナー）及び既存中小企業の経営革新ないし第二創業への啓発のための管理強化セミナー（中級編）、経営戦略セミナー（上級編）である。

- ① 創業支援セミナー（起業編）／5 日間コース（各 3 時間）参加者 延べ 154 名（うち補助者等 NPO 会員 25 名）
- ② 経営革新セミナー（上級編）／3 日間コース（各 3 時間）参加者 延べ 86 名（うち補助者等 NPO 会員 23 名）
- ③ 資金計画（キャッシュフロー経営）セミナー（中級編）／参加者 37 名（うち補助者等 NPO 会員 5 名）
- ④ マーケティングセミナー（中級編）／参加者 26 名（うち補助者等 NPO 会員 7 名）
- ⑤ リスク管理セミナー（上級編）／参加者 28 名（うち補助者等 NPO 会員 6 名）

(2) 活力あるまちづくり・地域経済活性化の支援・行政への施策提案等事業

内容としては、地域経済活性化支援を目的として、創業気運の醸成及びイベントを通じての市民～企業の交流機会のためのビジネスプランコンテストへの支援、中小企業活性化のための産学連携・経営相談による戦略的経営の勧め及び景気動向調査の分析に基づく行政施策への提案等の実施である。

- ① 活性化策実現支援事業（ビジネスプランコンテスト：16 年 1 月 26 日）
プラン募集、一次審査、ブラッシュアップなども担当 コンテスト応募者 13 名 発表者 8 名（うち入賞者 5 名）
- ② 企業訪問及び経営相談等事業 / 訪問企業数 100 社 経営相談件数 45 件
- ③ 産学公連携事業（海老名商工会議所）
訪問企業数 26 社 実施内容 交流会議 4 回、スタッフ会議 6 回、ほか大学、産総研、企業等視察
- ④ 景気動向調査分析による施策等の提案事業（年 2 回：15 年 9 月、16 年 2 月）
アンケート及びヒアリング調査の分析、報告書・提案事項の提出を実施 参加者 当 NPO にて対応 延べ 6 名

(3) IT 利活用事業

厚木市が平成 18 年度から建設業関係の電子入札制度スタートの予定なので、IT 利用のニーズは高い。したがって、IT 活用の環境整備支援事業では、PC の実務的講習や電子入札制度への参加に際しての相談受入れ等、また、ネットワーク作り事業では、企業の受発注システムの構築や SOHO が使い易いネットワークについて、それぞれ鋭意検討したがいずれも具体的な進展に至らなかった。

集会回数 5 回 参加人員 延べ 35 名（NPO 内部対応）

(4) 地域人材活用システム事業

「シニア人材の活用システムづくり事業」として経産省の市民ベンチャー事業へ挑戦したが、果たせなかった。また、「シニア人材の社会参画機会の提供事業」も、各種セミナーを通じて地域での認知度が上がってきたので、一部希望者も見られるが、具体的な事業化の段階までには至らなかった。

集会回数 4 回 参加人員 延べ 30 名（NPO 内部対応及び若干の外部者の意見聴取）